

- 自主防災組織等のリーダーや一般住民向けの教育・訓練カリキュラムが提示されている既存成果物等から、自主防災組織のリーダーを対象とした学習項目の整理・集約を実施し、カリキュラムの骨子(案)の土台を作成。

## 分析対象成果物等

- 成果物① 防災・危機管理教育のあり方に関する調査懇談会報告書 (H15 消防庁)  
成果物② 防災研修カリキュラム・講師支援教材 (H20 消防庁)  
成果物③ 地域防災リーダー育成用研修テキスト「地域防災リーダー入門」活用の手引き (H26 内閣府(防災担当))  
成果物④ CERT基礎訓練受講者マニュアル (2011 米国連邦緊急事態管理庁 (FEMA) 他)  
成果物⑤ リーダーシップ成功のためのCERTツール (2012 米国連邦緊急事態管理庁 (FEMA) 他)  
その他⑥ アンケート調査や先進事例調査で収集した研修プログラム等

## 作業内容

### (ア)学習項目の仮設定

平成15年当時にリーダー等が学ぶべき学習項目として整理した成果物①のカリキュラムの区分を自主防災組織のリーダーを対象とした学習項目として仮に設定。

### (イ)学習項目の比較・分析による区分(大項目)の設定

成果物①と、成果物②～その他⑥に示されている学習項目を比較・分析し、区分(大項目)を整理・集約。

### (ウ)カリキュラム骨子(案)の土台の作成

(イ)で整理・集約した区分(大項目)を軸にすえ、成果物①～その他⑥に示されているより詳細な学習項目(概ね中項目レベル)を比較・整理すること等により、カリキュラム骨子(案)の土台を作成。

## (ア) 学習項目の仮設定 (第2回検討会で提示)

- 成果物①のカリキュラムの区分をリーダーが身につけるべき学習項目として仮設定。

	区分 (大大項目)	区 分 (大項目)
1	基礎	各災害の基礎知識／地域の災害危険性と被害想定／防災のしくみ／災害に強いまちづくり／地域の防災リーダーの役割／災害ボランティアの役割
2	災害予防	災害に対する備え／地域住民の防災活動の促進／防災訓練・講習会の企画運営／防災資機材等の管理／災害ボランティアの活動体制
3	災害応急対応	発災時の対応 (災害時にどう行動したらよいか)
4	災害復旧・復興	施設、設備の応急復旧活動／地域の復旧・復興への住民の取組／自主防災組織の役割

※成果物①「防災・危機管理教育のあり方に関する調査懇談会報告書」(H15消防庁)P46～50より作成

## (イ) 学習項目の比較・分析による「区分 (大項目)」の設定

- 成果物①と成果物②～その他⑥に示されている学習項目とを比較・分析した結果、「災害予防」の大項目に「災害発生に備えた体制の構築」を追加。(4頁～8頁参照)

	区分 (大大項目)	区 分 (大項目)
1	基礎	各災害の基礎知識／地域の災害危険性と被害想定／防災のしくみ／災害に強いまちづくり／地域の防災リーダーの役割／災害ボランティアの役割
2	災害予防	災害に対する備え／地域住民の防災活動の促進／ <b>災害発生に備えた体制の構築(※)</b> ／防災訓練・講習会の企画運営／防災資機材等の管理／災害ボランティアの活動体制
3	災害応急対応	発災時の対応 (災害時にどう行動したらよいか)
4	災害復旧・復興	施設、設備の応急復旧活動／地域の復旧・復興への住民の取組／自主防災組織の役割

(※)赤字箇所は、カリキュラムの比較・分析の結果、成果物①の学習項目に追加する大項目

## (ウ) カリキュラム骨子 (案) の土台の作成

- 成果物①の中項目と成果物②～その他⑥の学習項目の詳細（概ね中項目レベル）を比較し、成果物①の中項目に追加すべき項目を洗い出し。
- 学習項目の明確化等の観点から、大項目・中項目の見出しの変更・細分化、大項目と中項目の位置づけの再編等により、下表のとおり「カリキュラム骨子 (案) の土台」を作成。（詳細は9頁以下参照）

カリキュラム骨子(案)の土台

	区分 (大項目)	区分 (大項目)	区分 (中項目)
1	基礎	各災害の基礎知識	災害発生メカニズムと被害／過去の災害事例／災害伝承（先人の教え）／今後発生しうる大規模災害
		地域の災害危険性と被害想定	地域の災害危険性／各種災害の被害想定等
		防災のしくみ	我が国の災害対策／市区町村の災害対策
		災害に強いまちづくり	災害に強いまちづくり
		地域の防災リーダーの役割	自主防災活動の必要性／地域の防災リーダーの役割／防災と男女共同参画
		自主防災組織概論	自主防災組織の役割・運営体制／地域の防災計画の立案と見直し／自主防災組織以外の地域防災を推進する主体／地区防災計画の策定
		災害ボランティアの役割	災害ボランティアの役割／ボランティアとして参加する際の心構え／ボランティアと受援力の強化
2	災害予防	災害に対する備え	事前の備えチェック／我が家の安全性チェック／我が家の耐震性チェック
		地域住民の防災活動の促進	住民の役割／レジャー中の災害
		災害発生に備えた体制の構築	情報収集・伝達のしくみづくり／避難所運営体制づくり／要配慮者支援体制づくり
		防災訓練・講習会の企画運営	防災訓練・講習会の企画運営／防災知識の普及・啓発
		防災資機材等の管理	防災資機材等の管理
		災害ボランティアの活動体制	災害ボランティアの活動体制／ボランティアコーディネーション
3	災害応急対応	発災直前の対応	気象予警報、避難勧告・指示等
		発災直後の対応	災害時にとるべき対応／情報収集・伝達方法／初期消火／応急手当の方法／救助方法／要援護者の安全確保（地域住民との協力）／安全な避難方法／帰宅困難者対策／サバイバル技術
		被災生活への対応	避難所運営／防犯秩序維持／環境衛生／心のケア、生活相談等
4	災害復旧・復興	施設、設備の応急復旧活動	復旧への対応
		地域の復旧・復興への住民の取組	復旧・復興への住民の取り組み／生活再建のための被災者支援

(※) 赤字箇所は、カリキュラムの比較・分析の結果、成果物①の学習項目に追加、再編、変更等を行う学習項目(大・中項目)

## （参考）【成果物①】と【成果物②】の比較・分析結果

- 成果物②で示されているカリキュラムの大・中項目と、仮設定した学習項目に対応する成果物①の大項目とを比較・分析した。
- その結果、成果物②を踏まえ、成果物①の大項目レベルに追加すべき項目は特段見受けられなかった。

### 成果物②カリキュラムの区分(大項目・中項目)

「基礎」

「災害予防」

「災害応急対応」

「災害復旧・復興」

区分（大項目）	区分（中項目）
災害のイメージを持つ	地震・津波が起きたらどうなる？／雨、風などによってもたらされる主な災害
災害の基礎知識	地震・津波の基礎知識／本市(町村)で起き得る地震・津波被害／風水害の基礎知識／本市(町村)で起き得る風水害
先人の教え	寺田寅彦／今村明恒／濱口梧陵
災害に備えて知っておくべきこと	地震による被害を最小限とするために／風水害による被害を最小限とするために
	地震が起きたときの行動／風水害による危険が迫ったときの行動
本市(町村)の防災	緊急時に本市(町村)から発表される情報
本市(町村)の防災	本市(町村)の防災の現況
いざという時役立つ知識	初期消火／救命手当／避難
地域防災の実践	自主防災活動の必要性／自主防災組織の活動に参加しよう／防災まちづくり活動の紹介
ボランティア活動の実践	災害ボランティア活動の意義と役割／ボランティア活動を行う際の心構え
実践的なワークショップ	実践的なワークショップ・防災訓練

※成果物②「防災研修カリキュラム・講師支援教材（H20消防庁）」(p.5～8を整理)より作成

## (参考)【成果物①】と【成果物③】の比較・分析結果

- 成果物③で示されているカリキュラムの大・中項目と、仮設定した学習項目に対応する成果物①の大項目とを比較・分析した。
- その結果、成果物③の学習項目のうち、「災害時の情報収集・伝達<③情報収集・伝達のしくみづくり>」など、災害予防のための体制構築に関する学習項目については、成果物①の大項目に位置付けるのに適当な項目が見受けられなかったため、2頁の(ア)において仮設定した区分(大項目)中に、新たに「災害発生に備えた体制の構築」を追加する(2頁の(イ)のとおり)。

### 成果物③カリキュラムの区分(大項目・中項目)

「基礎」

「災害予防」

「災害応急対応」

「災害復旧・復興」

区分(大項目)	区分(中項目)
地域防災リーダー論	地域防災リーダー入門
地域防災活動論	地域の防災計画の立案と見直し/地域の災害危険調査と防災マップ <①住んでいる地域への理解>/防災まちづくり/地域防災活動と防災関係機関<⑦関係機関との連携>
	家庭での防災対策<②自助の推進>/建物の耐震、室内空間の安全化<②自助の推進>/ <b>災害時の情報収集・伝達&lt;③情報収集・伝達のしくみづくり&gt;/防災訓練・イベントの企画と実施&lt;④地域の防災力強化のための防災訓練やイベントの実施&gt;/避難所運営&lt;⑤避難所運営体制づくり&gt;/要配慮者対策(災害時要援護者対策)&lt;⑥要配慮者支援体制づくり&gt;</b>
	避難・初期消火・人命救助
	地域の復興・再建
災害一般論	災害概論/地震災害/気象災害(台風・集中豪雨)/土砂災害/火山災害/その他の災害(竜巻等)
災害史	災害史
災害対策論	災害対策の概要/市区町村の災害対策
現代社会と災害	ライフライン被害と生活支障/災害時の情報通信
	帰宅困難者対策
これからの災害と災害対策の重点	南海トラフ巨大地震/首都直下地震/富士山噴火災害/巨大台風/都市型水害/その他の災害
災害支援論	ボランティアと受援力強化<⑧受援力の強化>
	被災者支援の状況
WS(ワークショップ)や体験学習	救助・救急救命/避難所運営/地域の防災意識高揚(クロスロード)/地域の防災マップづくり/地域の防災対策(DIG)/地域の避難訓練/家具の耐震等の実習

災害発生に備えた体制の構築



## 【参考】【成果物①】と【成果物④】の比較・分析結果

- 成果物④で示されているカリキュラムの大・中項目と、仮設定した学習項目に対応する成果物①の大項目とを比較・分析した。
- その結果、成果物④を踏まえ、成果物①の大項目レベルに追加すべき項目は特段見受けられなかった。

### 成果物④カリキュラムの区分(大項目・中項目)

「基礎」

「災害予防」

「災害応急対応」

「災害復旧・復興」

区分(大項目)	区分(中項目)
災害への準備	コミュニティ防災準備：役割と責任／ハザード及びその潜在的な影響／インフラへの影響
	家庭内及び職場での準備／減災を通してハザードの影響を低減すること
	CERTの災害対応／災害作業員の保護／CERTの追加訓練
火災時の安全とユーティリティ（電気・ガス・水道など）の管理	火災の化学／火災とユーティリティのハザード／火災を評価する際の手順、火災評価時に考慮すべき事項／消火手段／消火時の安全／危険物／実習：小火の消火
災害医療オペレーション - パート1	生命に関わる状態の処置／トリアージ
災害医療オペレーション - パート2	公衆衛生面で考慮すべきこと／災害医療オペレーションの機能／医療処置を行う場所の設営／全身評価の実施／熱傷の処置／創傷の手当／骨折、脱臼、捻挫、捻挫（重度・軽度）の処置／鼻の怪我（鼻血）／虫刺され（咬傷と刺傷）／低温下で生じる傷病の処置／高温下で生じる傷病の処置
探索及び救助活動	探索及び救助活動時の安全性／屋内及び屋外探索活動の実施／救助活動の実施
CERTの組織	緊急時におけるCERT組織の構成・役割／緊急時におけるCERTの参集・活動内容／緊急時における災害状況や資源状況についての記録（文書化）
	体験学習：ICS（災害指揮管理システム）の役割／体験学習：机上演習
災害時の心理	災害のトラウマ
	チーム活動の好事例と方法
	生存者のトラウマへの働きかけ
テロとCERT	テロとは何か／テロの標的／テロリストの攻撃手段／CBRNE（化学・生物・放射性物質・核及び爆発物）の指標／家庭内及び職場、近隣で行える準備／CERTとテロ事件

※成果物④「CERT基礎訓練受講者マニュアル(2011)」より作成

## (参考) 【成果物①】と【成果物⑤】の比較・分析結果

- 成果物⑤で示されているカリキュラムの大・中項目と、仮設定した学習項目に対応する成果物①の大項目とを比較・分析した。
- その結果、成果物⑤を踏まえ、成果物①の大項目レベルに追加すべき項目は特段見受けられなかった。

### 成果物⑤カリキュラムの区分(大項目・中項目)

「基礎」

「災害予防」

「災害応急対応」

「災害復旧・復興」

区分(大項目)	区分(中項目)	内 容
リーダーとチームメンバー	チーム構成	・リーダーとチームメンバー、チームリーダーの特徴、チームメンバーの特徴
	チームリーダー	・有効な指導技術・動機・責任の負い方・決断型の行動・効果的コミュニケーション・倫理的に行動する・信頼関係の構築 ・チームリーダーの責任範囲・指導と管理の違い・指導力モデル(リーダーシップを示す4つの基本分類)・演習:リーダーシップとは何か
	メンバー	・チームメンバーの責任範囲(快く従う・指揮系統の指示に従う・与えられた任務を完了する・最善の努力を払う・理解できない場合、明確化を求める・現場の安全確保)・チーム内の対話・チーム活動の成功
指導スタイル	状況に応じたリーダーシップ	・リーダーとして対応する最善の方法はCERTがおかれた状況の緊急度を測ること
	CERT状況の分類	・緊急度に応じて、①緊急、②統制、③計画の3つにCERTの状況を分類
	CERTの状況にあった指導スタイル	・緊急段階: 決断型リーダーシップ ・統制段階: 参加型リーダーシップ ・計画段階: 権限委譲型リーダーシップ ・演習: 正しい指導スタイルの選び方 ・演習: 自分に合った指導スタイルはどれか
リーダーの行動	リーダーの役割	・リーダーがなすべきこと ・状況把握 ・状況把握力の維持 ・継続的責任 ・リーダーのふるまい ・状況把握力の喪失 ・チーム活動指導チェックリスト(段階的な任務)
	リーダーに係るストレス	・ストレスの多い状況のリーダー ・ストレス下での意思決定 ・ストレスの多い状況での留意点 ・演習: ストレスの多い状況における指導 ・演習: チーム別役割演習

※成果物⑤「リーダーシップ成功のためのCERTツール(2012)」より作成

## (参考)【成果物①】と【その他⑥】の比較結果

- 各地方公共団体が開催する自主防災組織等のリーダーを対象とした研修会・養成講座などの研修プログラム等と、仮設定した学習項目に対応する成果物①の大項目とを比較・分析した。
- その結果、成果物①の大項目レベルに追加すべき項目は特段見受けられなかった。

### 各地方公共団体の研修プログラム等と成果物①の学習項目との対比

成果物①		都道府県			市区町村						
大大項目	大項目	A県	B県		C県		D県	E県	F県		
		リーダー講座1	リーダー講座2	リーダー講座3	c1市	c2市	d市	e市	f市		
					リーダー講座4	リーダー講座5	リーダー講座6	リーダー講座7	リーダー講座8	リーダー講座9	リーダー講座10
基礎	各災害の基礎知識	○	○	○	○		○		○	○	
	地域の災害危険性と被害想定		○	○				○	○		
	防災のしくみ	○	○	○		○			○	○	
	災害に強いまちづくり	○	○	○		○			○		
	地域の防災リーダーの役割		○						○		
	災害ボランティアの役割										
災害予防	災害に対する備え	○	○	○		○		○	○	○	
	地域住民の防災活動の促進	○	○	○		○	○		○		
	防災訓練・講習会の企画運営		○	○	○	○	○	○	○		○
	防災資機材等の管理		○			○			○		
災害応急対応	災害ボランティアの活動体制		○	○				○			○
	発災時の対応 (災害時(どう)行動したらよいか)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害復旧・復興	施設、設備の応急復旧活動										
	地域の復旧・復興への住民の取組										
	自主防災組織の役割		○	○	○		○		○	○	

※各地方公共団体が実施する自主防災組織等のリーダーを対象とする研修会等の研修プログラム等について、成果物①の大項目に該当するものがある場合に、当該該当する項目に○を付けた。

## (参考) カリキュラム骨子(案)の土台の作成について

- カリキュラム骨子(案)の土台の作成にあたり、大項目より詳細な学習項目である中項目を、成果物①をもとに設定。
- その上で、成果物①と成果物③の比較分析の結果(5頁参照)を、成果物①の大項目・中項目に追記することとする(下表のとおり)。

	区分 (大大項目)	区分(大項目)	区分(中項目)
1	基礎	各災害の基礎知識	災害発生メカニズム／過去の災害事例
		地域の災害危険性と被害想定	地域の災害危険性／各種災害の被害想定等
		防災のしくみ	防災のしくみ
		災害に強いまちづくり	災害に強いまちづくり
		地域の防災リーダーの役割	地域の防災リーダーの役割
		災害ボランティアの役割	災害ボランティアの役割／ボランティアとして参加する際の心構え
2	災害予防	災害に対する備え	事前の備えチェック／我が家の安全性チェック／我が家の耐震性チェック
		地域住民の防災活動の促進	住民の役割／防災マップの作り方／レジャー中の災害
		<b>災害発生に備えた体制の構築</b>	<b>情報収集・伝達のしくみづくり／避難所運営体制づくり／要配慮者支援体制づくり</b>
		防災訓練・講習会の企画運営	防災訓練・講習会の企画運営
		防災資機材等の管理	防災資機材等の管理
		災害ボランティアの活動体制	災害ボランティアの活動体制／ボランティアコーディネーション
3	災害応急対応	発災時の対応(災害時にどう行動したらよいか)	気象予警報、避難勧告・指示等／災害時にとるべき対応／情報収集・伝達方法／初期消火／応急手当の方法／救助方法／要援護者の安全確保(地域住民との協力)／安全な避難方法／避難所活動／サバイバル技術
4	災害復旧・復興	施設、設備の応急復旧活動	復旧への対応
		地域の復旧・復興への住民の取組	復旧・復興への住民の取り組み
		自主防災組織の役割	自主防災組織の役割

(注) 赤字部分は、新たに追加する学習項目(大項目・中項目)

- 次に、成果物②～⑥の学習項目の詳細（概ね中項目レベル）から、成果物①の中項目に追加すべき項目を洗出し。

	区分 (大大項目)	区分 (大項目)	区分 (中項目)
1	基礎	各災害の基礎知識	災害発生メカニズム／過去の災害事例／ <b>災害伝承（先人の教え）（※1）</b> ／今後発生しうる大規模災害（※2）
		地域の災害危険性と被害想定	地域の災害危険性／各種災害の被害想定等
		防災のしくみ	防災のしくみ
		災害に強いまちづくり	災害に強いまちづくり
		地域の防災リーダーの役割	<b>自主防災活動の必要性（※3）</b> ／地域の防災リーダーの役割／ <b>防災と男女共同参画（※4）</b>
		災害ボランティアの役割	災害ボランティアの役割／ボランティアとして参加する際の心構え／ <b>ボランティアと受援力の強化（※5）</b>
2	災害予防	災害に対する備え	事前の備えチェック／我が家の安全性チェック／我が家の耐震性チェック
		地域住民の防災活動の促進	住民の役割／防災マップの作り方／レジャー中の災害
		<b>災害発生に備えた体制の構築</b>	<b>情報収集・伝達のしくみづくり／避難所運営体制づくり</b> ／ <b>要配慮者支援体制づくり</b>
		防災訓練・講習会の企画運営	防災訓練・講習会の企画運営
		防災資機材等の管理	防災資機材等の管理
3	災害応急対応	災害ボランティアの活動体制	災害ボランティアの活動体制／ボランティアコーディネーション
		発災時の対応（災害時にどう行動したらよいか）	気象予警報、避難勧告・指示等／災害時にとるべき対応／情報収集・伝達方法／初期消火／応急手当の方法／救助方法／要援護者の安全確保（地域住民との協力）／安全な避難方法／避難所活動／ <b>帰宅困難者対策（※6）</b> ／サバイバル技術
4	災害復旧・復興	施設、設備の応急復旧活動	復旧への対応
		地域の復旧・復興への住民の取組	復旧・復興への住民の取り組み／ <b>生活再建のための被災者支援（※7）</b>
		自主防災組織の役割	自主防災組織の役割

（注）赤字部分は、新たに追加する学習項目（大項目・中項目）

## 考え方

- ※1 成果物②の学習項目「先人の教え」を、大項目「各災害の基礎知識」の中項目として追加。内容の明確化のため、見出しを「災害伝承（先人の教え）」と設定した。
- ※2 成果物③の学習項目「これからの災害と災害対策の重点」を踏まえ、大項目「各災害の基礎知識」の中項目として「今後発生しうる大規模災害」を追加した。
- ※3 成果物②の学習項目「自主防災活動の必要性」（主に自助、共助の重要性の解説）を、大項目「地域の防災リーダーの役割」の中項目として追加した。
- ※4 各地方公共団体の研修プログラム等において、男女共同参画に関する学習項目を研修メニューとして設定しており、学習内容として重要であることから、大項目「地域の防災リーダーの役割」の中項目の一つとして「防災と男女共同参画」追加した。
- ※5 成果物③の学習項目「ボランティアと受援力の強化」を、大項目「災害ボランティアの役割」の中項目として追加した。
- ※6 成果物③の学習項目「帰宅困難者対策」を、大項目「発災時の対応」の中項目として追加した。
- ※7 成果物③の学習項目「被災者支援の状況」において、被災者支援の課題、被災者支援に関する法律、公的な被災者支援策など生活の再建に向けた住民への支援策等を学習する項目を設定しており、これを大項目「地域の復旧・復興への住民の取組」の中項目として追加した（見出しは「生活再建のための被災者支援」と変更）。

- さらに、学習項目の明確化等の観点から、見出しの変更・細分化、大項目・中項目間の位置づけの再編等を実施。

	区分 (大項目)	区分 (大項目)	区分 (中項目)
1	基礎	各災害の基礎知識	災害発生メカニズムと被害(※1) / 過去の災害事例 / 災害伝承(先人の教え) / 今後発生しうる大規模災害
		地域の災害危険性と被害想定	地域の災害危険性 / 各種災害の被害想定等
		防災のしくみ	我が国の災害対策 / 市区町村の災害対策(※2) ⇒旧「防災のしくみ」を置き換え
		災害に強いまちづくり	災害に強いまちづくり
		地域の防災リーダーの役割	自主防災活動の必要性 / 地域の防災リーダーの役割 / 防災と男女共同参画
		自主防災組織概論(※3)	自主防災組織の役割・運営体制 / 地域の防災計画の立案と見直し / 自主防災組織以外の地域防災を推進する主体 / 地区防災計画の策定
2	災害予防	災害に対する備え	事前の備えチェック / 我が家の安全性チェック / 我が家の耐震性チェック
		地域住民の防災活動の促進	住民の役割 / レジャー中の災害 ⇒「防災マップの作り方」は「防災訓練・講習会の企画運営」に包含(※4)
		災害発生に備えた体制の構築	情報収集・伝達のしくみづくり / 避難所運営体制づくり / 要配慮者支援体制づくり
		防災訓練・講習会の企画運営	防災訓練・講習会の企画運営 / 防災知識の普及・啓発(※4)
		防災資機材等の管理	防災資機材等の管理
		災害ボランティアの活動体制	災害ボランティアの活動体制 / ボランティアコーディネーション
3	災害応急対応	発災直前の対応(※5) ⇒「発災時の対応」を細分化	気象予警報、避難勧告・指示等
		発災直後の対応(※5) ⇒「発災時の対応」を細分化	災害時にとるべき対応 / 情報収集・伝達方法 / 初期消火 / 応急手当の方法 / 救助方法 / 要援護者の安全確保(地域住民との協力) / 安全な避難方法 / 帰宅困難者対策 / サバイバル技術
		被災生活への対応(※5) ⇒「発災時の対応」を細分化	・避難所運営(※6) ⇒旧「避難所活動」 ・防犯秩序維持 / 環境衛生 / 心のケア、生活相談等(※7) ⇒旧「自主防災組織の役割」から再編
4	災害復旧・復興	施設、設備の応急復旧活動	復旧への対応
		地域の復旧・復興への住民の取組	復旧・復興への住民の取り組み / 生活再建のための被災者支援

## 考え方

(注) 赤字部分は、新たに追加等の学習項目(大項目・中項目)

- ※1 中項目「災害発生のメカニズム」は、成果物①の学習内容を見ると災害による被害をも含んだ学習項目となっており、内容の明確化のため名称を変更した。
- ※2 中項目「防災のしくみ」は、成果物③の大項目「災害対策論」に対応する中項目の「災害対策の概要」・「市区町村の災害対策」を踏まえ、我が国の災害対策と各市町村の災害対策を理解できるよう、同様の項目に置き換えた。
- ※3 大項目「地域の防災リーダーの役割」には、成果物①の同項目の説明上自主防災組織の役割等に関する事項を含んでいるものの、組織の役割、運営等に関する項目は別に項を立てるべき重要事項であるため、新たに「自主防災組織概論」を設定し、自主防災組織の役割や運営体制、防災計画の策定等を中項目として位置づけた。併せて、消防団、女性防火クラブなど自主防災組織以外の地域の防災に関係する組織等の役割等を学習する項目として「自主防災組織以外の地域防災を推進する主体」を設定した。
- ※4 中項目「防災訓練・講習会の企画運営」は、訓練・ワークショップ等の企画運営と住民に対する普及・啓発に分類できるため、新たに「防災知識の普及・啓発」を中項目として追加。また、大項目「地域住民の防災活動の促進」に対応する中項目「防災マップの作り方」は、「防災訓練・講習会の企画運営」に含まれるため削除した。
- ※5 大項目「発災時の対応」は、災害発生から復旧・復興に至る時間軸に沿った項目に細分化し、中項目もそれに対応するよう整理した。
- ※6 中項目「避難所活動」は、住民が避難所で生活していく上での留意事項を学習するための項目として設定されているが、近年、自主防災組織による避難所運営が防災対策上重要な位置を占めている現状を踏まえ、「避難所運営」に変更した。
- ※7 大項目「災害復旧・復興」の大・中項目「自主防災組織の役割」の学習内容は、大項目「被災生活への対応」に関連する内容のため、その下の中項目「防犯秩序維持 / 環境衛生 / 心のケア、生活相談等」として再編した。